



ホームページ



Instagram

藍サポ通信～明日に向かって～に掲載されている写真は、本人又は保護者の同意を得て掲載しています。

### 色鮮やかな紅葉狩り

ひらの中では毎年恒例の紅葉狩りに行ってきました。今年も残暑が厳しく紅葉が遅くなるとの予報があり、例年よりも二週間程遅らせて取り組みました。十月後半からの冷え込みもありどのグループも綺麗な紅葉を楽しんでいます。今年も箕面公園と万博記念公園だけでなく、職員おすすめの堺市にある大仙公園を加えた三ヶ所からそれぞれ行きたい所を決め、グループに分かれて出かけました。事前のお弁当選びでは「何がいいかな?」「こっちも美味しそうだよ」などと話をしながら選び、大仙公園を選んだグループは、初めて行く場所という事もあり、「どんな所だろう?」「なにがあるかな?」と行く前から皆さん楽しみな様子でした。紅葉狩り当日、注文していたお弁当を受け取るとそのまま目的地へ出発!車内では聞きたいCDを選び音楽を聴いたり、利用者さん同士や職員とのやり取りを笑顔で楽しませていました。散策中はほかほか陽気の中、見頃となった紅葉を見ながら「きれいだね」と感想を述べつつ紅葉を楽しんでいます。紅葉を楽しんだ後は、

各グループそれぞれ昆虫館や堺市博物館、民族博物館などを見学して過ごしています。ひらのに戻ってから「どうだった、良かった?」と聞かれ笑顔で応えてくれる利用者さんや思い出話をしてくれる方もいてみんな秋を満喫した一週間でした。



(二人での写真撮影の為マスクを外しています)



# 松原高校吹奏楽部の

## 皆さんと



(吹奏楽部の皆さんによる演奏の様子)

ひらのは、今年も松原高校吹奏楽部の方々が来て下さりクリスマスコンサートを開催しました。職員がコンサートの準備をしている間、吹奏楽部の皆さんがキーボード

で曲を弾いてくださり利用者さんと皆さんが関わる様子が見られました。また「イントロクイズをしたらどう？」と提案してくれて待ち時間でも楽しく過ごす事ができました

た。コンサートが始まると『あわてんぼうのサンタクロース』や『ジングルベル』といったクリスマスマスの定番曲以外にも『紅蓮華』や嵐の『ハピネス』、SEKAINOWARIの『RPG』なども演奏してくれました。利用者さんは知っている曲になると口ずさんで楽しんでいましたよ。CDの音とは違う生の演奏の迫力を感じられる素敵なおひと時となりました。また、演奏だけでなく曲の合間にはクイズもあつて問題が出ると「一番違うか?」「いや、三番!」など、みんな楽しく言い合いながら考え、正解すると「やったー」と喜んだり「違ったかー」と悔しがったりと盛り上がりました。コンサート終了後、感謝の気持ちを込めて利用者さんが作った名前入りのキーホルダーと、感謝状をプレゼントしています。来年もクリスマスコンサートで松原高校吹奏楽部の方とお会いできるのが今から楽しみです。

## 避難訓練

第二ひらのは、九月に大阪市サポートセンター指導のもと、火災を想定した避難訓練を行いました。第二ひらの建物は火災が発生すると各階に設置されている防火シャッターが自動的に閉まるように設計されていてシャッターの隣には非常扉、その先に非常階段が設置されています。今回は二階の調理室で火災が発生したと想定し、非常階段を使って一階へ避難する訓練を行いました。お昼の休憩時に「火災が発生しました」の声で避難訓練が開始。利用者の皆さんは慌てることなく落ち着いて活動部屋の外に出られ、踊り場から非常階段を使って避難する時も走らないで降りていました。待機場所で職員の点呼が済むまで皆さん落ち着いて行動する事が出来ていたのでサポートセンターの方も感心されていました。避難訓練が終わってからは一階でサポートセンターの

方に車いすを使っている利用者さんの避難をどうしたら良いか等の質問に答えて頂いたり、消火器の使い方についても職員だけでなく利用者さんにも手に持って扱い方を教えてもらう事が出来ました。普段触る機会が少ない消火器ですが皆さん真剣な表情で取り組んでおられました。藍サポートネットワークでは、定期的に事業所ごとで避難訓練を実施しています。皆さんが火災に対して少しでも危機管理を持つてもらって、今後も訓練を継続していきます。そして実際に火災が起きたとしても迅速な対応ができるように心掛けていきます。



(消化器の扱いを体験する利用者さん)

# ヘルパー日誌

## 〜通院記録〜

月に一度、通院等介助の制  
度を使って利用者さんと西区  
にある病院に通っています。  
西区というと平野区からは少  
し遠い場所になりますが、利  
用者さんの希望で支援を続け  
ています。地域生活支援セン  
ターHIRANOが支援する  
前から通院されていたことも  
あり、病院の医師やスタッフ  
さんとの付き合いは十年以上  
になります。過去には症状が  
悪化して大変な時期があり、  
そんな時でも親身になって対  
応してくれたそうです。それ  
が今でも通いたいと思える理  
由になっているみたいです。  
ある日突然、利用者さんから  
「病院までの移動が長くてつ  
らい」と相談されたことがあ  
りました。その時は近くの病  
院に変更する事も視野に入れ  
て利用者さん・支援者で何度  
も話し合いを重ねました。お  
世話になった病院だからこそ

利用者さんはとても悩まれ、  
悩んで悩んで悩み抜いておら  
れました。時間をかけてじっ  
くり考えた結果、病院を変え  
ずに通い続ける事を決断され  
ました。時間がかかっても自  
分で答えをさせたこともあ  
り、今では病院までの長い道  
のりであっても「運動になる  
し、まあいいかな」と楽しく  
雑談しながら前向きに捉える  
事ができています。今はまだ  
大丈夫ですが、色んな理由で  
再び決意が揺らぐ時が来るか  
もしれません。そんな時がき  
たとしても今回のように利用  
者さん自身が答えをさせるよ  
うに「病院が遠くても近くに  
も私たちは支援しますのです  
じつくり考えて選んでくださ  
いね」と言っておられる様に  
継続して支援が出来たらと思  
います。



# ハロウィンイベント

くれよんでは、十月にハロ  
ウィン週間と題しておやつを  
ハロウィン仕様にしたりお菓  
子のつかみ取りや、設定保育  
でハロウィン早着替えレース  
をしました。お菓子のつかみ  
取りでは「どれだけ取れるか  
な?」「○○がほしいな」と  
ウキウキした気持ちで参加し  
て取れたお菓子をパクパク食  
べて「また来年もしたいな」  
と話して満足そうでした。



(おやつを食べている場面の為  
マスクを外しています)

早着替えレースでは、レー  
スが始めると子ども達は皆  
「どれに着替えようかな?」  
「これを着ると面白そう」な  
どの会話をしながら楽しんで  
上手に着替えて楽しんでいま  
した。着替え終わった後は自



慢の仮装を披露して「いいや  
ん、似合っているよ」と声を  
かけられて嬉しそうな様子で  
した。仮装した姿はみんなそ  
れぞれ個性があり、可愛かつ  
たです。



## ショーウィンドウもクリスマスに様変わり

クリスマスに向けて子ども達と手作りのクリスマスツリーを制作しました。形を整えた段ボールに画用紙を貼った



り色を塗ったりしてツリーの形を作り、最後は子ども達の手形をペタペタとつけて完成させました。出来上がったツ

リーを見て「僕の手形だよ、大きいでしょ」と自分の手形を指さしながら満足そうな表情を見せてくれました。

完成したツリーをショーウィンドウに設置してからも送迎や、散歩などで外にでかける時にショーウィンドウの前を通ると子ども達から「見て見て！あれは僕が作ったんだよ」、「綺麗だね」と笑顔で話しかけてくれます。また、自分が作った制作物が飾られていることに喜んでいいる様子も感じられます。

夕方になりショーウィンドウが点灯されるとクリスマスツリーの雰囲気がグッと増します。昼間とは違う様子に地域の方々も立ち止まって眺めておられました。色んな方に子ども達の作品を見ていただけることは大変喜ばしい事です。これからも季節感のある物や子ども達と一緒に製作した物を展示できたらと思っておりますので、ご家族の方々も見に来てください。



ショーウィンドウのライトアップ



設定保育で子ども達とガチャガチャのカプセルを使ったオーナメントを作りました。カプセルの中にサンタクロースやトナカイの絵を入れたりカプセルの周りに飾りをつけ

たりして製作しました。また、人型の画用紙に目、鼻、口を付け加えた顔を描いてオリジナルの飾りを作ったりもしました。(制作したオーナメント)

気温が下がって寒い冬の季節が訪れていますが、利用者の皆さんは元気に通所されています。年に1度のクリスマス会も開催することができました。ただ、新型コロナウイルスの感染が再び増加していることや、インフルエンザの流行が懸念されていることもあり、感染予防の対策はゆるめず実施しています。受け入れを継続する為にも利用者、ご家族の皆様には引き続き基本的な感染対策へのご協力をよろしくお願いいたします。

